

# ファイバースタウト

アルミ手摺の支柱固定等を目的に開発した、全く新しいポリマーセメントグラウト材です。

## ■特長

- エポキシ樹脂系グラウトと同様に支柱溶接等が不要です。また、非常に安価です。
- “一材型(完全プレミックス)”製品であるため、安定した品質が得られます。
- 一回充填が可能で、速硬型セメントを用いていますので、早期固定が可能です。
- 施工時期に応じた調合設定(標準、夏期、冬期)でオールシーズン可使用時間を30分程度に調整しています。

## ■用途

手摺支柱の固定

## ■性状

主成分:特殊速硬型セメント・特殊繊維・特殊骨材・粉末樹脂等  
外観:灰色粉状

## ■調合

調合比	ファイバースタウト 10 kg (1袋) 清水 1.70 L (1.65 ~ 1.75) 夏期(25℃以上)のみ最大1.80Lまで可能
練り上り容量	約 5 L
施工箇所数	約 20 箇所 (コンクリートコア:50×60mm・深さ110mm、鞆管:40×20mmを100mm定着させた場合)

## ■施工方法

- I. コア抜き部の確認・清掃  
水溜りは、スポンジ等で除去・乾燥させて下さい。
- II. 吸水調整材の塗布  
ファイバースタウト施工前日にスタックプライマー#3の2倍希釈液を塗布して下さい。
- III. 手摺ユニットを設置
- IV. ファイバースタウト施工  
攪拌機(回転数1000MIN-1以上)で2分間攪拌して下さい。また、練り混ぜた材料は、30分以内に充填してください。(再練り不可)
- V. 養生  
材料が硬化するまで人による振動や衝撃に注意し養生して下さい。



### ○施工上の注意

- 他の材料は、混入しないで下さい。
- 流し込み充填から硬化までの期間は気温5℃以上を維持し、凍結防止の為に適切な養生を行なって下さい。
- 直射日光や降雨・通風の激しい場所での施工は養生等に注意し行って下さい。

### ○保管上の注意

- 雨露を避けて湿気の少ない場所で保管下さい。

## ■性能比較一覧

項目	方法等	単位	ファイバースタウト		エポキシ樹脂系グラウト		
線膨張係数	JHS416、60℃～-20℃	1/℃	1.40 × 10 <sup>-5</sup>		7.50 × 10 <sup>-5</sup>		
圧縮強度	JIS A 1108	N/mm <sup>2</sup>	位置	3時間	12.6	—	
				6時間	16.0	—	
				1日	33.6	—	
				3日	43.7	—	
				7日	55.7	50.0	
				28日	65.4	56.2	
圧縮 静弾性率	JIS A 1149	N/mm <sup>2</sup>	位置	7日	2.02 × 10 <sup>4</sup>	2.47 × 10 <sup>4</sup>	
				28日	2.15 × 10 <sup>4</sup>	2.55 × 10 <sup>4</sup>	
直接 静弾性率	特殊治具と接合し 引張載荷	N/mm <sup>2</sup>	位置	7日	3.96	—	
				28日	5.05	—	
引張 静弾性率	JIS A 1149	N/mm <sup>2</sup>	位置	7日	2.10 × 10 <sup>4</sup>	—	
				28日	2.24 × 10 <sup>4</sup>	—	
曲げ強度	JIS R 5201	N/mm <sup>2</sup>	位置	7日	13.9	17.1	
				28日	16.1	19.0	
ひび割れ 抵抗性	水中(12H)→冷却(-10℃・ 12H)→加熱(70℃・12H)	サイクル	位置	試料	基盤	試料	基盤
		15	ひび割れの発生	無	無	—	—
耐引抜き力	鞅管に特殊治具を取付け 建研式接着試験器で 引抜き	吸水調整材	温冷繰返し	無	有	無	有
		2倍	kN	30	30	—	—
		3倍		30	30	—	—
		無		30	30	28.5	30
耐繰返し 水平荷重 (疲労)	PC鋼棒の支柱試験体を 特殊治具で疲労試験機に 固定し1470N/m相当の 荷重で3600サイクル載荷	サイクル	位置	試料	基盤	試料	基盤
		300～900	ひび割れの発生	無	無	無	無
		1800		無	無	無	有
		2700		無	無	無	有
		3600		無	無	無	有
最終		無	無	無	有		
衝撃強さ	JIS K 7111 プラスチックシャルビー 衝撃特性の求め方	kJ/m <sup>2</sup>	位置	たて	よこ	たて	よこ
				2.32	2.11	0.78	1.01
防せい性	鉄筋コンクリート補修用防錆材の 品質基準(案)	発錆率%	位置	試料	基盤	試料	基盤
				47.6	7.6	63.6	5.0
手摺ユニット 水平荷重	BLT SR-05 手摺ユニット の水平荷重試験による ひび割れ観察	N/m	位置	試料	基盤	試料	基盤
		2200	ひび割れの発生	無	無	無	無
		2450		無	有	無	無
		2695		有	有	無	有
2950	無	無		無	有		
R部支柱 水平荷重	BLT SR-08 R部手摺支柱 の水平荷重試験による ひび割れ観察	N/m	位置	試料	基盤	試料	基盤
		1715	ひび割れの発生	無	無	無	有
		2450		無	無	無	有
2950	無	無		無	有		
支柱 衝撃荷重	45kgのショットバックを2m のひもで75cmから落下	衝撃	位置	試料	基盤	試料	基盤
		5回	ひび割れの発生	無	無	無	無



### 注意点

施工上の注意事項及び安全衛生上の注意事項をご確認の上、施工ください。  
各製品ごとの注意事項については、ダウンロードサイトよりご確認ください。

### kikusui ダウンロードサイト

掲載製品を取り扱う際は、各製品のSDS及び  
標準施工仕様書をご確認ください。



菊水化学工業株式会社 問合せ窓口 ☎ 0748-77-3155

ホームページ > <https://www.kikusui-chem.co.jp/>



札幌 ☎ 0133-62-5580 金沢 ☎ 076-290-2256 広島 ☎ 086-244-3711  
 仙台 ☎ 022-706-5710 松本 ☎ 0263-30-1562 福岡 ☎ 092-433-6262  
 北関東 ☎ 0280-98-5232 静岡 ☎ 054-655-5150 鹿児島 ☎ 099-222-5139  
 東京 ☎ 03-3981-2500 名古屋 ☎ 0568-69-5200  
 横浜 ☎ 045-595-1550 大阪 ☎ 06-7668-5320  
 新潟 ☎ 025-364-6066 岡山 ☎ 086-244-3711